②-4

少子高齢化・
地域・モビリティ

MEIJO Seeds & Solution

人手不足に挑み、地域の未来をつくる

「空間」×「技術」×「人」で「住みたい＆訪れたい」都市をデザイン

街路空間とモビリティサービスを融合し、人が様々な活動を歩いて楽しめる都市ビジョンの評価

近隣での生活・来訪の魅力を高める「15 分都市」の実現に向け、街路とモビリティのつながりを高め、歩いて楽しいウォーカブルな空間をデザインします。人の歩行ニーズ（利便、安全、快適、楽しさ）を満たす街路空間を CG・VR で可視化し、人の知覚・行動データから都市の QOL を評価します。

中村 一樹 教授
理工学部
社会基盤デザイン工学科

ウォーカブルな空間が創る都市ビジョンの QOL 評価

①環境QOL：環境に優しい

②生活QOL：健康に暮らせる

③余暇QOL：まちが楽しい

歩行ニーズの段階的発展

都市ビジョンの QOL 評価のステップ

改善する場合

賑わい・住みやすく・人が集う都市空間
市民QOL向上、
脱炭素社会の実現

改善しない場合

自動車依存、過疎化、
人が集まらない
無機質な都市空間

【研究の開発】空間＆知覚データの収集

- 街路空間の 3DCG/VR 評価システム
- 歩行ルートの AI 評価システム
- 15 分都市の GIS 評価システム

【研究の成果・展開】

- アジア低炭素都市の戦略構築
- ウォーキング＆スマートモビリティの促進
- スポーツツーリズムへの適用

想定連携先

- 地方自治体
- 建設コンサルタント
- 不動産デベロッパー
- スマートシティ地域活性化プロジェクト